

世界中の空の安全のために

～危機を救う判断するシステムの開発～

宇宙航空システム工学科

工学部教授 橋本 毅

飛行機が危ない状態になった時、パイロットの機転か、機械（コンピューターシステム）の冷静さか、あなたならどちらに任せたいですか？現在、飛行機はコンピューターを中心とした制御装置によってパイロットが休んでいても安定して飛行できます。宇宙ステーションからの脱出機や軍用の偵察機などパイロットがいない飛行機もあります。これらの飛行機が故障した時に操縦するシステムの開発—例えば故障や不具合を素早く察知して、正常に働いている装置だけを使って可能な限り安全な飛行を続けるシステム—が研究の目標です。本物の飛行機をわざと壊して飛ばすことができるかどうかを調べる実験は危険な上に莫大な費用が掛かります。「ちょっとくらい壊れてもそれを素早く察知してうまく飛べる飛行機をめざす」研究では、頭とコンピューターの中で自由自在に“壊した”飛行機を飛ばします。



<http://www.sojo-u.ac.jp/>

そうじょう大学

検索



●工学部 ●芸術学部 ●情報学部 ●生物生命学部 ●薬学部

熊本市西区池田4-22-1

問い合わせは入試課まで

TEL:096-326-6810(直通)